2020年度第13期トビタテ！留学JAPAN 学内申請書

アカデミック・オフィス

応募学生 フリガナ 氏名		学籍番号	
		国籍	日本国籍を所持 ・ 日本への永住が許可されている ※いずれかに〇をつけてください。
生年月日: 年 月 日生 (歳)		申請コース	

①留学計画	■留学計画について ※該当するものにチェックを入れて、( )内については必要事項を記入 ☐ 留学計画に、交換留学等のAPUのOff-campus Study Programへの参加(見込)が含まれている (プログラム名:) ☐ 長期休暇での私費留学、インターンシップ、ボランティア等へ参加予定または決定している (受入機関名:) ☐ 休学を伴う私費留学、インターンシップ、ボランティア等へ参加予定または参加が決定している (受入機関名:)	■留学先の国/地域・都市【複数ある場合は全て記入すること】 [ ] ＜実践活動(ｲﾝﾀｰｼｯﾌﾟ、ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ又はﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸ等)について( )内の選択肢のうちもっとも当てはまるものを〇で囲んでください。 1. 実践活動の確定状況 (確定済 ・ コンタクト中 ・ 未確定) 2. 留学先機関より受入許可証取得状況 (取得済 ・ 未取得)
②奨学金	■日本学生支援機構(JASSO)奨学金の受給状況について ※該当する番号に〇をし、()内については1つを〇で囲んでください 1. 今現在 (第一種 ・ 第二種) を受給している 2. 海外留学支援制度(協定派遣)の奨学金に (応募した ・ 応募予定である) 3. JASSOの奨学金は受給しておらず、受給する予定もない	■他奨学金の受給状況 ※現在受給予定(申請予定、申請中含む)の奨学金を記載してください。 [ ]

③本人住所	〒	E-mail: @apu.ac.jp TEL・携帯: ( )ー ー 通学別 : 自宅 ・ 自宅外 (いずれかに〇)
④保護者住所	〒	E-mail: @ TEL・携帯: ( )ー ー

家族及び所得の状況

⑤就学者を除く家族

続柄	氏名	年齢	現在の職業	在職年数	勤務先・役職	いずれかに〇
父						※該当者のみ 単身赴任 ・離婚 ・死別
母						※該当者のみ 単身赴任 ・離婚 ・死別
						(家計支持者と)同居・別居
						(家計支持者と)同居・別居
						(家計支持者と)同居・別居

該当する☐欄にチェック

- ☐ 両親が離婚⇒ 養育費の【 有 ・ 無 】→「有」の場合:【年額 万円】＊ 証明となる公的書類を提出してください。
- ☐ 父または母と死別⇒ 証明となる公的書類を提出してください。
- ☐ 主たる家計支持者が無職(失職) ⇒ 失職年月【 年 月】＊証明となる公的書類を提出してください。
- ☐ 収入が申請者本人のみ⇒ 収入源【 】、収入額:【年額 万円】

⑥就学者

続柄	氏名	年齢	在学学校名(2019年12月時点)	学年	通学別
			国 ・ 公 ・ 私		自宅 ・ 自宅外
			国 ・ 公 ・ 私		自宅 ・ 自宅外
			国 ・ 公 ・ 私		自宅 ・ 自宅外

障害・長期療養者

⑦障害

続柄	障害種別	障害者手帳有無	障害者が長期療養を要する場合(※)
	心身障害	有(等級＝ 級) ・ 無 ※障害者手帳を保有している方はコピーを添付してください。	長期療養期間＝ 年 月から
	その他 ( )		長期療養費用＝年額 円
			そのうち保険等で補填されない費用＝ 円

⑧長期療養

続柄	療養状況(※)
	長期療養期間＝ 年 月から
	長期療養費用＝年額 円
	そのうち保険等で補填されない費用＝ 円

※該当する場合は、長期療養のために経常的に支出している金額を証明できるもの(領収書等)の直近6ヶ月分のコピーを提出してください。

⑨ 家計支持者が単身赴任等の場合、別居にかかる費用(月額)	住居費	円	⑩ 1年以内に火災・風水・盗難等の被害を受けた場合	被害/被災年月＝ 年 月
	水光熱費	円		該当者は罹災証明書および被害額を示す見積書・請求書等を提出してください。
	合計	円		

以上のとおり、記載事項に相違ありません。

⑪署名 申請日: 年 月 日 署名: _____

該当者のみ提出

給与支払(見込)証明書

勤務者 氏名

住 所

就職年月日	年　　月　　日
就職以後１年間の 給与支払（見込）額	年　　月 から　　年　　月 まで 円

扶養家族					
氏名	続柄	年齢	氏名	続柄	年齢

※「就職以後１年間の給与支払（見込）額」には、賞与・臨時手当等も含めて記入してください。所得税法上非課税となる通勤に要する手当ては含めないでください。

上記の者は、本事業所に勤務しており、給与支払額（見込額）は上記の通りであることを証明します。

年　　月　　日

事業所所在地

事業所名

代表者氏名

印

電 話

プログラム参加意思及び申請状況　確認書

本学の実施する Off-campus Study Program について、学生の参加意思および申請状況を下記のとおり確認しました。

記

学籍番号	
学生氏名	
参加見込プログラム名	
参加見込プログラム開始時期	（　　）年度（　春　・　秋　）セメスター
申請状況	（　問い合わせ中　・　申請中　・　合格済　）

以上

立命館アジア太平洋大学
アカデミック･オフィス　課長

アカデミック･オフィス受付印

受付印の無いものは無効

記入例

トビタテ！留学JAPAN

入力した内容に不備がないかチェックしたい場合には、
このボタンを押して下さい。
※学校への申請は行われません。
※一時保存時には、不備のチェックは行っていません。

オンライン申請

トビタテ！ 留学JAPAN日本代表プログラム

メールアドレスの変更 | 学校の変更 | 申請事前チェック | 学校へ申請 | ログアウト

入力した内容で学校へ申請します。学校への申請後は、
差戻された場合を除き、修正はできませんのでご注意下さい。

募集：第13期
ユーザ名：
選考ステータス：作成中
所属大学等：トビタテ大学
学内申請の期限：

大学等名が所属大学であることを
必ず確認してください。

学校・学部等からのお知らせ

【2019/12/18】学内説明会開催場所の変更
開催場所を○○○○に変更いたします。

【2019/12/13】学内説明会のお知らせ
○月○日○時 △△△△で開催します。

【2019/12/06】応募について
＜提出資料一式＞
・○○○○○○
・○○○○○○

申請内容に不備があり、差戻された際に担当者からのコメントが表示されます。

学内担当者からのコメント

※申請期間終了後、一定期間を経過すると、システム上で申請内容を確認できなくなります。
必要に応じて、各自で留学計画書の内容を保存するなどの対応をお願いします。

【入力上の注意事項】
事前に必ず募集要項を確認してください。
日本語で入力してください。
氏名は、漢字、ひらがな又はカタカナで入力してください。
旧字体の漢字の場合は、常用漢字で入力してください。
全ての項目を入力したうえで申請してください。
ただし、注意書き等で任意と記載されている項目に関しては、未入力でも申請できます。
なお、年齢や在籍大学等の情報等については、「留学開始年度の4月1日時点の情報」を入力してください。
（例:2020年8月～2021年3月に留学開始の場合、2020年4月1日時点の情報）

申請コース	
海外初チャレンジ応援枠	この枠で応募を希望する場合はチェックしてください。 28日以上であれば、短い期間の留学も歓迎。海外経験の少なさ（目安 した選考を行います。 海外経験が少なくても、通常の枠での審査を希望する場合は、チェック ☐

一時保存（又は学校への申請）を行わないまま、
長時間経つと入力内容が消えてしまいますので、
1時間に1回は一時保存するようにしてください。

※1時間に1回は、必ず一時保存するようにしてください。

一時保存

1.応募者基本情報　※こちらに記入例がありますので、参考にしてください

氏名		姓: 名:
フリガナ		姓: 名:
ローマ字		姓: 名:
国籍		選択してください ※日本国籍を有する又は日本への永住が許可されている方が支援対象です。
性別		選択してください
生年月日		2020年4月1日 現在の年齢: 歳 ※30歳以下であること カレンダーから選択もしくは、直接入力（YYYY/MM/DD）が可能です。
顔写真		顔写真を設定してください ファイルサイズ1MB以内に縮小してください。 ファイル形式はJPG/JPEG/PNGでお願いします。 ※ドラッグ&ドロップでファイルを選択できます。 ファイル選択
在籍大学等の情報 ※2020年4月1日現在の予定	大学等名	トビタテ大学
	所属学部/研究科/学科/専攻/コース	
	課程	選択してください
	学年	選択してください 年
	卒業予定日	留学中は、日本の大学等に在籍をしていることが派遣留学生の要件となっています。採用決定後であっても、要件を満たしていない場合は支援対象外となり、辞退していただくことになりますので、必ず確認してください。 カレンダーから選択もしくは、直接入力（YYYY/MM/DD）が可能です。
卒業高校等の情報	国/都道府県	
	設置形態	選択してください
	高校等名	高校ではなく、高等専門学校（本科）、専修学校（高等課程）を卒業した場合も入力してください。
	高校等での トビタテ利用	高校生コースで「トビタテ！留学JAPAN 日本代表プログラム」に採用され、留学した場合は「有」を、それ以外の場合には「無」を選択してください。 選択してください
進路情報[任意]		2020年4月以降に他大学等に進学・転学予定の場合、大学等名および研究科/学部名を記入してください。 他大学等に進学・転学予定の場合は、進学・転学先の大学等担当者に奨学金支給事務手続き等を対応してもらうよう、必ず連絡をとってください。
過去の海外経験		過去の海外での生活、留学、旅行など自身の海外経験について記入してください。 海外初チャレンジ応援枠で応募を希望する場合は、必ず入力してください。 未入力または海外累計滞在日数が半月程度を超える場合は、通常の枠での審査となりますのでご注意ください。 入力文字数:0/255文字

2020年4月1日現在の在籍大学等の情報を入力してください

※1時間に1回は、必ず一時保存するようにしてください。

一時保存

2.留学計画の概要　※こちらに記入例がありますので、参考にしてください

留学計画のタイトル	留学計画にタイトルをつけてください。 中国医学・薬膳・茶を学び、高齢化社会におけるQOL向上に貢献する 入力文字数:32/65文字
留学計画の分野	59 食物学・調理・栄養
留学計画の目的と概要 ※実践活動部分には下線を引いてください ※下線を引くには、実践活動部分を選択状態にしてUボタンを押すか、Uボタンを押した状態で文字を入力してください ※下線箇所に記載した実践活動の受入先機関は、必ず「3.留学先機関情報」に入力ください。	●実践活動について トビタテ!留学JAPAN日本代表プログラムでは、座学や知識の蓄積型ではなく、「実社会との接点」をもつ実践活動が含まれる留学による多様な学びを重視し、学生が自ら定めた明確な目的と意欲的な目標に基づいて立案した、実践活動が含まれる留学計画を支援します。留学先機関の確定の有無よりも、計画内容が留学の目的に沿っているかどうかを重視します。 U 高齢化社会において如何にQualty of Lifeを向上させるか、という社会的問題の解決に対して、日常の「食生活」からアプローチを図ることが留学の目的である。医食同源という言葉で表現される健康増進法をより積極的に取入れるべく①中国医学(漢方)、②薬膳、③中国茶、④香辛料について学び……。 まず北京大学において中国医学に関する専門的な知識を深める。次に漢方薬を専門に取扱っている薬局で約80日間のインターンシップをし、漢方薬の取扱いや処方について実習する予定である。インターンシップ先はまだ確定していないが、複数の薬局に対して受入れていただけるかどうか打診している。…… 入力文字数:285/1000文字
留学計画に含まれる実践活動 ※選択した実践活動の受入先機関は、必ず「3.留学先機関情報」に入力ください。 ※フィールドワークは必ず教員等からの指導を受けて実施する必要があります(承諾書を取得ください)	以下、留学計画に含まれる実践活動の内容にあてはまるものを選択してください。(複数選択可) 選択可能: インターンシップ(無給)、インターンシップ(有給)、ボランティア、PBL、フィールドワーク、その他 選択済み
申請コース選択の理由	入力文字数:0/255文
留学計画期間 ※「3.留学先機関情報及びスケジュール」の第1希望留学計画と開始日・終了日が一致するように入力してください。 開始日	開始日とは、出入国の
終了日	終了日とは、出入国の日ではなく、実際の留学終了日(授業、実習、実践活動等の終了日)のことです。 卒業予定日以後の日付は入力できません。 卒業予定日: ※1

項目を選択して、右矢印ボタン又は左矢印ボタンを押すと、未選択⇔選択済みを変更できます。
項目をダブルクリックでも同様に変更できます。

第13期の留学開始日は、2020年8月10日～2021年3月31日まで選択可能です。
カレンダーから選択もしくは、直接入力（YYYY/MM/DD）が可能です。

留学期間が28日以上1年以内となるように終了日を入力してください。
カレンダーから選択もしくは、直接入力（YYYY/MM/DD）が可能です。

3.留学先機関情報及びスケジュール　※こちらに記入例がありますので、参考にしてください

●入力項目の説明

語学学校、大学等の座学の受入先機関だけではなく、インターンシップ、フィールドワーク及びボランティア等の実践活動先機関についても「留学先機関情報」欄に必ず入力ください。

応募時、留学先機関名、国・地域、都市名、URLが未定の場合は「未定」と入力ください。「未定」と入力した欄が多いと、学修活動の実現可能性が低いとみなされる場合がありますので御注意ください。

第1希望として入力された留学計画に基づいて奨学金等の支援額が決定されます。
計画変更に伴う奨学金等の増額は認められません。

留学期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・　渡航日・帰国日ではなく、実際の留学開始日・終了日（授業、実習、実践活動等の開始日・終了日）を入力してください。詳細日程まで決まっていない場合は、開始日には1日を、終了日には月末日を入力してください。その場合は、「主な活動：」欄に想定している留学期間（日数）を入力ください。

第1希望の開始日と終了日を基に支援額を決定します。

第2希望以降の開始日と終了日は第1希望と同様にしてください。第2希望受入先機関に変更した場合、記載している開始日終了日は反映されません。

第2希望以降の入力は任意です。

国・地域・・・・・・・・・・・・・・・・・・　奨学金等の支給額は国・地域により異なります。
プルダウンから国・地域情報を選択してください。

機関名・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　留学先機関名を記入してください。予定・希望でも構いません。
日本語での表記が困難な場合は、「日本語表記」欄に「読み仮名（カタカナ）」または「英語表記」を入力ください。
大学内に設置されている「語学研修プログラム」や「語学コース」でのみ修学する場合は、「主な活動」欄にその旨を入力ください。

ランキング等出典名・URL、順位・・・・・・・・・世界トップレベル大学等コースを選択している場合には、必ず入力してください。

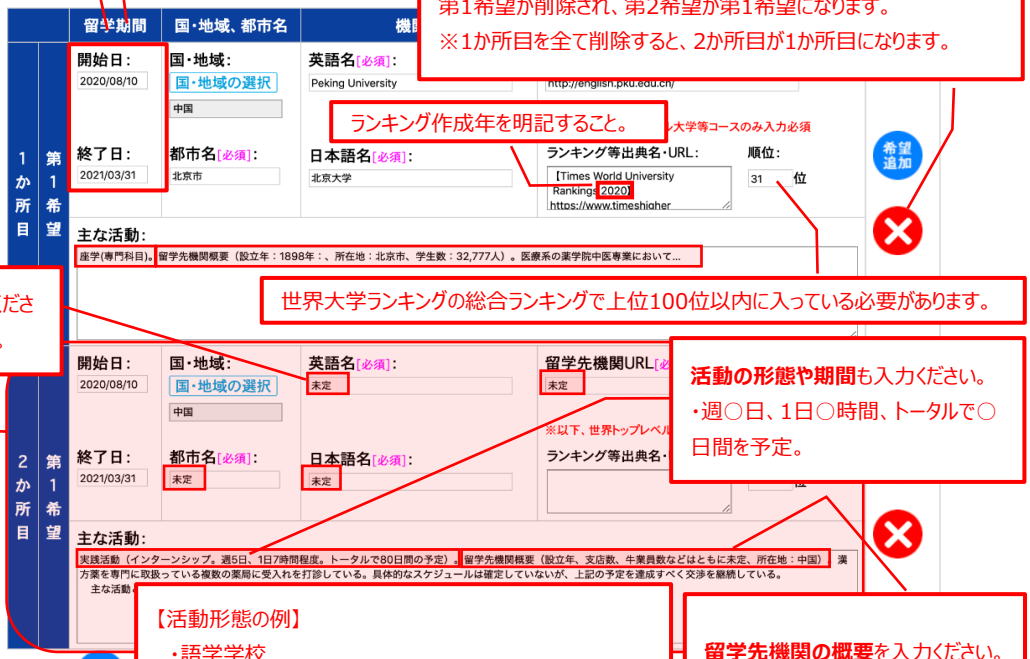
主な活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　月毎の主な授業、実習、実践活動等を入力してください。
（入力例）毎月8日間（毎週末）、1日8時間程度ボランティア活動をする予定です。主な活動内容としては、……などが挙げられます。
第2希望以降の入力は任意です。

留学先機関情報

※留学先機関名は予定・希望でも構いません
※世界トップレベル大学等コースを選択する場合、第2希望・第3希望の大学等以外への計画変更はできませんので、注意してください。
※「2.留学計画の概要」留学計画の目的と概要で下線を選択した実践活動の受入先機関は、必ず留学先機関情報として入力してください。

●大学ランキングについて

世界トップレベル大学等コースは、各種の世界大学ランキングの総合ランキングで上位100位以内に位置する等、諸外国におけるトップレベルの大学や研究所等への留学を含む計画を支援対象とします。
なお、国内ランキングや学部等の専門分野別の大学ランキング
（参考）代表的なランキング
■QS World University Rankings 2020（クアクアレリ・シモン
■World University Rankings 2020（タイムズ・ハイヤーエ



受入開始日順に留学先機関を入力してください。

「2.留学計画の概要」で入力した「留学計画期間」の範囲内に収まっている必要があります。
なお、「留学期間」は留学先機関での受入開始日～受入終了日です。
渡航日～帰国日ではありませんので注意して下さい。
カレンダーから選択もしくは、直接入力（YYYY/MM/DD）が可能です。

該当の希望ごと削除したい場合には、このボタンを押して下さい。

※第2希望を入力した状態で、第1希望のこのボタンを押すと、第1希望が削除され、第2希望が第1希望になります。
※1か所目を全て削除すると、2か所目が1か所目になります。

ランキング作成年を明記すること。

世界大学ランキングの総合ランキングで上位100位以内に入っている必要があります。

インターンシップ等の留学先機関も入力してください。未定の場合は「未定」と入力してください。

活動の形態や期間も入力ください。
・週○日、1日○時間、トータルで○日間を予定。

受入機関は、15か所3希望まで入力が可能です。
それ以上入力する場合には、「第2希望以降の受入機関を設定する理由」に記載してください。

3か所目以降を入力したい場合には、このボタンを押して下さい。

【活動形態の例】
・語学学校
・語学コース（大学内に設置されている）
・座学（専門科目）
・実践活動（ボランティア）
・実践活動（インターンシップ）
・実践活動（フィールドワーク）
・実践活動（研究室内での実験・データ解析）
　主として理系コース選択者を対象としています。
・座学・実践活動（専門科目・研究室内での実験）
　主として理系コース選択者を対象としています。
・座学・実践活動（専門科目・実習・実技）
　主として理系コース（医療・介護）、多様性人材コース（音楽）選択者を対象としています。

留学先機関の概要を入力ください。
・設立年、所在地、支店数、事業内容・規模、従業員数等など。URLは「留学先期間URL」に入力ください。
・未定の場合は「想定している事業内容・規模、従業員数」などを入力ください。

第2希望以降の受入機関を設定する理由		留学先機関について、第2希望以降を設定する理由、及び上記でおさまらない場合は留学先機関情報を入力してください。 入力文字数:0/255文字
授業料申請予定		第1希望の計画で授業料が発生するかどうかを選択してください。見込みでも構いません。 選択してください
本制度以外に受給予定(申請予定、申請中含む)の給付型奨学金や給与等の報酬について	本制度外受給	本制度以外に受給希望・予定の留学のための給付型奨学金や、留学中に受給希望・予定の給与等の報酬の有無をプルダウンより選択してください。 「有」を選択した場合は、以降の4項目を入力してください。 選択してください
	受給予定総額	円
	受給予定月数	か月
	受給予定月額 ※自動計算	併給予定の給付型奨学金や受給予定の給与等の平均月額が、本制度による奨学金の支給月額を超える場合、支援の対象になりませんので留意してください。 円
	受給形態	選択してください
	給付型奨学金・報酬名	受給予定(希望)の奨学金名や、報酬名を入力してください。 インターンシップ等による給与の場合は、インターンシップ先の企業や機関名を入力してください。
学修の成果及びその測定方法		以下、学修の成果及びその測定方法の内容にあてはまるものを選択してください。(複数選択可) 選択可能 成果発表(論文、作品等) 単位・学位取得 その他 選択済み 学修の成果及びその測定方法の詳細を入力してください。 入力文字数:0/400文字
期待できる学修・実践活動の成果の活用		留学後、大学等在学中及び卒業後にどのように成果を活用するかを入力してください。 募集要項に記載のあるとおり、多様性人材コース以外のコースは、将来的に産業界を中心に活躍する意欲のある学生を支援することとしています。産業界を中心とした成果の活用イメージ、キャリア等を可能な範囲で入力してください。在籍課程や年齢により具体性が異なることは勘案します。 多様性人材コースに関しては、産業界に限らず多様な分野で活躍する意欲がある学生を支援する事としていますので、各々の分野・活動における成果の活用イメージを入力してください。 入力文字数:0/500文字

※1時間に1回は、必ず一時保存するようにしてください。

一時保存

4.留学計画の実現可能性　※こちらに記入例がありますので、参考にしてください

留学計画の実現のための取組		留学先機関との交渉状況（受入許可書・内諾書の有無、取得の見込み・予定時期）及び留学開始日までに査証を取得し得る見込み等について詳細かつ具体的に入力してください。 入力文字数：0/500文字
参加予定プログラム		以下、参加予定の留学プログラムであてはまるものを選択してください。（複数選択可） 選択可能：在籍大学等の交換留学／在籍大学等のダブル/ジョイントディグリープログラム／在籍大学等の留学プログラム（交換留学以外）／在籍大学等以外の機関による留学プログラム／留学プログラムに参加しない 選択済み
参加予定プログラム名		
参加予定プログラム実施機関名		参加プログラムで、在籍大学等以外を選択した場合には、記入してください。
語学能力	英語[任意]	TOEIC　点　※点数範囲：10～990点 TOEFL（iBT）　点　※点数範囲：0～120点 IELTS　点　※点数範囲：1.0～9.0点 英検　選択してください その他の語学能力試験、資格等の点数・結果など、英語能力を測れるような内容をにしてください。 入力文字数：0/255文字
	その他言語[任意]	英語以外で使用できる言語を入力してください。複数ある場合は、すべて入力してください。 英語以外の言語の能力試験の点数やその他資格の結果、語学能力を測れるような内容を入力してください。 入力文字数：0/255文字

※1時間に1回は、必ず一時保存するようにしてください。

一時保存

5.自由記述欄　※こちらに記入例がありますので、参考にしてください

自由記述書 学習状況や成果・実績を証明する書類（未来テクノロジー人材枠のみ） 受入許可書等	ファイルは未登録です ＜注意事項＞ ※必要書類を1つのPDFファイルにまとめ、添付してください。 ※PDFファイルサイズは、2MB以内で収まるように作成してください。 ※ドラッグ&ドロップでファイルを選択できます。 ※詳細は募集要項で確認してください。 ＜理系、複合・融合系人材コース（未来テクノロジー人材枠を除く）、新興国コース、世界トップレベル大学等コース、多様性人材コース＞ 【自由記述書】 以下の4項目について自由に記述してください。 写真、画像、グラフ等の挿入、貼り付けは自由です。 なお、記載分量はA4サイズ2枚までとしてください（様式自由、大学等名・氏名を記載してください）。 ①留学によってどんな自分になりたいのか ②困難を克服した経験 ③トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラムに対して自身が貢献できると考えること ④その他アピールできるポイント 【留学先機関の受入許可書等、留学計画の実現可能性を証明できる文書等の写し】 現時点で用意できている場合は、添付してください。 ＜理系、複合・融合系人材コース（未来テクノロジー人材枠）＞ 【自由記述書】 以下の3項目について自由に記述してください。 写真、画像、グラフ等の挿入、貼り付けは自由です。 なお、記載分量はA4サイズ2枚までとしてください（様式自由、大学等名・氏名を記載してください）。 ①自身の専門分野における学習状況や成果・実績 ※対象の専門分野については、募集要項3ページ【「未来テクノロジー人材枠」について】を参照してください。 ②留学先で学んだテクノロジー分野に関する知識と構築した人的ネットワーク等を生かし、日本の発展及びトビタテ！留学JAPAN日本代表プログラムに対して自身が貢献できると考えること ③その他アピールできるポイント 【学習状況や成果・実績を証明する書類】 自由記述書に記載した「①自身の専門分野における学習状況や成果・実績」を証明する書類を添付してください。 （例：推薦状、過去の受賞歴、論文のアブストラクト、研究実績や学習活動の詳細等、形式不問） ※推薦状を提出する場合、以下1～4の要素を含むものを添付してください（様式自由）。 1.推薦者と推薦される応募者との関係性 2.応募者の専門性、研究や活動実績等 3.応募者が留学することを推薦する理由 4.推薦者の所属、連絡先及び直筆の署名 ※推薦状が日本語以外の言語で記載されている場合は、日本語の訳文をつけてください。 ※推薦者は、応募者の専門性、留学先での学修活動等及び応募者自身をよく理解する方であることが必要です。 ※推薦状の内容について、機構より直接推薦者に確認する場合があります。 【留学先機関の受入許可書等、留学計画の実現可能性を証明できる文書等の写し】 現時点で用意できている場合は、添付してください。 ファイル選択

※1時間に1回は、必ず一時保存するようにしてください。

一時保存

6.確認事項　※こちらに記入例がありますので、参考にしてください

派遣留学生の要件 留学計画書の要件 応募書類の確認	以下の全ての要件を満たすことを確認してください。 ※チェックしていない項目がある場合には申請できません。 ※詳細は募集要項を確認してください。 ☐ 日本国籍を有している又は日本への永住が許可されている。 ☐ 本制度で実施する事前・事後研修及び留学生ネットワーク（支援企業等に対する留学計画や活動報告・成果等の情報の提供を含む。）に参加する。 ☐ 日本の大学等において、卒業又は学位取得を目的とした課程に在籍している。 ☐ 日本の在籍大学等が派遣を許可し、留学計画書に記載された留学先機関が受入れを許可する。 ☐ 家計基準を満たす場合は「大学全国コース」、満たさない場合は「大学オープンコース」へ申請する。 ※家計基準を満たすか満たさないかは在籍大学等に問い合わせてください。 ☐ 留学に必要な査証を確実に取得できる。 ☐ 留学終了後、日本の在籍大学等で学業を継続又は学位を取得する。 ☐ 2020年4月1日現在の年齢が30歳以下である。 ☐ 留学中のインターンシップ等での報酬や他団体等から留学のための奨学金を受ける際には、その平均月額が、本制度による奨学金の支給月額を超えない。 ☐ 本制度において過去に派遣留学生として採用されていない。 ☐ 本制度の2020年度（第6期）高校生コースに応募しない、していない。 ☐ 2020年8月10日から2021年3月31日までの間に諸外国において留学が開始される（渡航日は含まず）。 ☐ 留学期間は28日以上で、1年以内である。※3か月以上推奨（海外初チャレンジ応援枠は除く） ☐ 留学先における受入機関が存在している。※受入機関が存在しない学生個人の活動等は認めません。 ☐ 在籍大学等が計画内容を教育上有益な学修活動と認めている。 ☐ 留学の目的に沿った実践活動が計画に含まれている。 ☐ 留学先機関の所在地が、外務省の「領事サービスセンター（海外安全相談班）」の情報提供サービス等における「海外安全ホームページ」上「レベル2：不要不急の渡航は止めてください。」以上に該当する地域ではない。 ☐ 未来テクノロジー人材枠への応募者は、①自由記述書（必須）、②学習状況や成果・実績を証明する書類（必須）、③留学先機関の受入許可書等、留学計画の実現可能性を証明できる文書等の写し（任意）を添付する。その他の応募者は、①自由記述書（必須）、②留学計画の実現可能性を証明できる文書等の写し（任意）を添付する。
利用規約	☐ 2016年9月1日施行の「利用規約」に同意する ※「利用規約」の文章はこちら
個人情報の取り扱いに関して	☐ 2016年4月1日施行の「個人情報の取り ※「個人情報の取り扱いに関して」の文章

未来テクノロジー人材枠への応募者とその他の応募者で添付書類が異なります。
適切な書類を添付しているか、確認してください。

全ての事項を確認（チェック）する必要があります。

※1時間に1回は、必ず一時保存するようにしてください。

応募申請締切り後、この画面は閲覧できなくなります。

一時保存　申請事前チェック　学校へ申請